学校だより

生地っ子

４号

〔育てたい子供像〕

黒部市立生地小学校

「かんがえる子」「はげましあう子」「ねばりづよい子」 令和５年８月９日、１０日

よろしくお願いいたします！

８月１日（火）付で校長として着任しました斉藤康（さいとう　やすし）です。前任の河内崇校長先生をはじめ歴代の校長先生方と子供たち、そして保護者の皆様方や地域の皆様方が築かれた１５０年の歴史と伝統を継承しつつ、「子供たちがよりよく成長できる学校」を目指して、全力を尽くしてまいります。

私にとって初めての生地小学校だよりを書かせていただいているので、自己紹介もしておきたいと思います。私は生まれも育ちも黒部市です。（生地ではなく三日市なのですが・・・）現在５３歳で９月の誕生日には５４歳になります。子供は男が２人いますが、長男は県外で社会人として働いており、次男は県外の大学で４年生になっています。現在の趣味（趣味にしてはかなりのめり込んでいるようですが）は、「走る」ことです。子供たち２人は陸上部でときおり賞状やメダルをもらってきていました。それを見ていて私はとてもうらやましくなりました。歳を重ねていくと叱られることも褒められることもだんだん少なくなってきませんか。子供たちが賞状をもらっている姿を見て心底うらやましく「あんなふうに褒められたい」と思い走り始めました。もちろんすぐに結果が出るわけではありません。それでも時間があれば様々な場所で走ったり、大会に出場したりしましたが入賞まで手が届きません。けがをしたときは、「もう駄目かなぁ」とあきらめそうになったこともありました。そして初めて大会で入賞し表彰台に上がれたのは、昨年の１１月入善扇状地マラソン大会でした。１０ｋｍ男子５０歳代の部５位（４０分４０秒）。本格的に練習を始めておよそ７年かかりました。でも、やってよかったと思っています。表彰台から見える景色は「うれしい」という簡単な言葉だけでは表せない何とも言えない、よい気持ちでした。この「何とも言えないよい気持ち」を味わいたくて、まだ走っています。生地小学校の子供たちにもやった人でないと分からない「何とも言えないよい気持ち」を味わってほしいとも思っています。そのような気持ちになれるのは、決して「走る」だけではないと思います。せっかくの夏休みです。様々なことに挑戦させる（する）よい機会です。挑戦したことによって「一生懸命できるもの」が見付かるかもしれません。今年の夏、親子で新たなことにチャレンジしてみませんか。

本校の教育目標は「学び合い　人間性豊かで　たくましい子供」です。この教育目標の具現化に向けて、知・徳・体のバランスのとれた子供の育成に取り組んでまいります。もちろん子供は、学校での教育だけで成長するわけではありません。家庭や地域と学校が三位一体になって支援・指導していくことが大切です。子供のよりよい成長を中心に据え、家庭・地域・学校がさらに「チーム生地小」となれるように、ご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。